

2025 ～ 2026 年度国際ロータリーのテーマ

UNITE FOR GOOD

- 会長 堤 勝也
- 幹事 草村安宏

No.1913 令和 07 年 09 月 07 日 第 09 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


よいことの
ために
手をとりあおう

■日帰り親睦例会

(進行 松元将潔 副 SAA)



■点鐘

(会長 堤勝也)

■ 来訪者紹介

(会長 堤勝也)

米山奨学生

魏芸婷 (ギゲイテイ) さん

※ご本人は「イーティンちゃん」と呼んでもらえると嬉しいそうです。

宜しくお願いします。



■ 会長の時間

(会長 堤勝也)

本日は日帰りでの家族旅行例会ということで、朝早くから多くの皆さまにご参加いただき、心より御礼申し上げます。



本日は特別に、私の父でもあり、また私の会社の会長でもある堤〔父〕も同行させていただいております。普段の例会とはまた違った形で、親子二代でこの場に加わらせていただけることを、大変ありがたく思っております。

さらに今年は、宇佐神宮御鎮座 1300 年という節目の年であり、普段は立ち入ることのできない特別な場所で参拝できる貴重な機会をいただきました。ぜひ皆さま心静かにご参拝いただければと存じます。

なお、お酒を召し上がる方は午前中の参拝までにご留意いただき、節度をもってご参加ください。本日は会員・ご家族が一堂に会する年に一度の親睦旅行です。皆さまとともに楽しく思い出深い一日となりますよう、ご協力をお願い申し上げます。

■ 幹事報告

(幹事 草村 安宏)



■ クラブより

※本日の例会は 10 月 10 日例会を変更して開催しております。

次回例会は 10 月 17 日 12:30 ～ となっております。
同日 18:30 ～ 新会員歓迎会もございますので宜しくお願いします。

■ 今後の地区行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2025 年 9 月 20 日 (土)	大分 011 011 ロータリークラブ 認証状伝達式並びに祝賀会	大分県 大分市	レンブラントホテル	彌富照皇
2025 年 9 月 27 日 (土)	RLI パート1	大分県 大分市	大分市コンパルホール アートホテル大分	案内中

■ 出席報告

(出席・プログラム担当副委員長 内田信行)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
8 月 27 日	未確定	-	-	-	-
9 月 07 日	39 (免 2) 37	13	-	-	35.14

☆出席免除

9 月 7 日

島村徹男 志賀重人

■ スマイル

(親睦・スマイル担当委員片岡貞志)



◎彌富照皇会員から御樽をいただいております。

■ 委員会報告

(親睦・スマイル担当委員片岡貞志)

本日の日帰り親睦例会について

熊本東南ロータリークラブ様

～ 宇佐神宮・懐かしい街並みを巡る大分日帰りの旅～

【旅行期日】 令和7年09月07日(日曜日)
 【集合時間・場所】 熊本ホテルキャッスル午前7時15分

日数	日	時	スケジュール
1	09/07 (日)	07:30	熊本ホテルキャッスル === <貸切バスにて/途中休憩> 07:30発
		11:00	※日本三大八幡宮 === 宇佐神宮【ご参拝】 === 翔山【ご昼食】 === 11:00着/12:20発 12:40着/13:40発
		14:10	=== 豊後高田・昭和の町【自由散策】 === 14:10着/15:10発
		18:30	=== 熊本ホテルキャッスル 18:30頃着

～お疲れ様でした!～
 朝:一 昼:〇 夕:一

※交通機関などの都合により予告なしに変更になる場合がございます。

KTC 熊本旅行株式会社



■ 点鐘

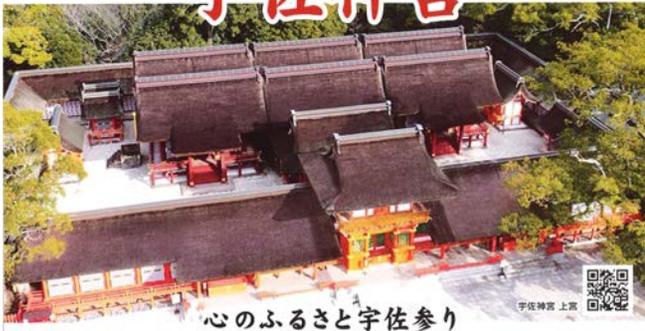
(会長 堤勝也)

■ 旅行アルバム・週報編

◆ 宇佐神宮

今和七年 御鎮座七千参百年

八幡総本宮 宇佐神宮



心のふるさと宇佐参り

宇佐神宮 上京

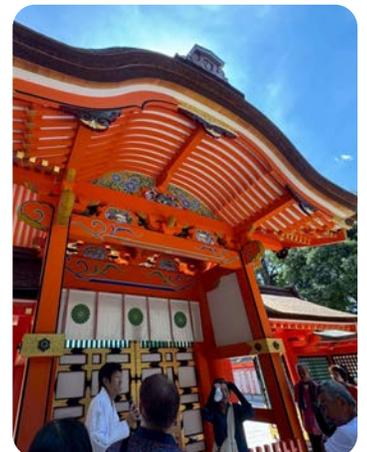


◆ 宇佐神宮西大門付近でのご案内 (権禰宜さま解説)

広場は「慶運の滝」と呼ばれ、お祓いを行う神聖な場所です。内部に立ち入ることはできませんが、ぜひ清らかな雰囲気を感じ取っていただければと思います。

この場所は「お越しかけ」とも称され、宇佐神宮における神輿発祥の地と伝えられています。夏祭りの際には、ここから神輿が繰り出し、さまざまな儀式や行事が行われる重要な空間です。

正面には大きな鳥居があり、その石段を登った先に「西大門(さいだいもん)」があります。この門をくぐると、いよいよ御本殿へと至ります。本日はこれより皆さまを御本殿へご案内いたします。



文化財

時の流れを伝える

宇佐神宮本殿(国宝)



「八幡造」の本殿は、一之御殿が神龜(二七二五)年、二之御殿が天平五(七三三)年、三之御殿が弘仁十四(八三三)年に造営された。現在の本殿は、安政一(一八五〇)年から文久元(一八六〇)年にかけて造営されたもので、昭和二十七年に、八幡造本殿の原型として、国宝に指定された。

本殿は南面して建座し、正面向かって左(西)より一之御殿、二之御殿、三之御殿の順に連なっている。三之御殿の裏に連なっているのは、一之御殿より、御本殿の裏に連なっている。各御殿の造りは、切妻造の内院と外院の二つが通り合っていて、結核される。内院(後部)は正面三間(柱間八尺)、外院(前部)は正面三間(柱間八尺)である。

その内院と外院の連座は、前面一間(柱間九尺)があり、御本殿が施され馬道と呼ばれる。馬道の上部には「宇佐の黄金種」と呼ばれる大きな楕圓が施され、八幡造の外見上の特長となっている。平成二十四年から二十七年にかけて、平成の大造営が行われた。



◆宇佐神宮御本殿のご案内（権禰宜さま解説）

御本殿は手前を「下院（げいん）」と呼び、八幡大神さまの「昼のお部屋」とされ、椅子が並べられています。奥は「内院（ないん）」と呼ばれる“夜のお部屋”で、畳敷きになっていると伝えられています。私どもでも奥の奥までは立ち入ることはできませんが、そのような構造になっていると承っております。

御本殿は側面から入る造りとなっており、正面には「四戸板（しといた）」と呼ばれる木の板が吊り下げられています。格子状の扉を掛け外し、下の板を引き抜くことで大祭の際には大きく開放され、盛大に神事が行われます。現在の建物は幕末の頃に再建されたものを基盤に、修復を重ねながら今日に至っております。

第一殿には八幡大神（応神天皇）をお祀りしています。創建は神亀2年（725年）、奈良時代のことです。今年（2025年）はちょうど御鎮座1300年の節目にあたり、宇佐神宮にとって大変意義深い年となっています。この記念の年に合わせて、10月6日には最も重要な祭礼の一つ「直会（なおらい）」が斎行される予定です。

中央の第二殿には比売大神（ひめのおおかみ）をお祀りしています。宗像大社（福岡県）や厳島神社（広島県）でも祀られる三柱の女神であり、海上交通や安産、繁栄を司る神々です。最奥の第三殿には神功皇后（おたらしひめのみこと）をお祀りし、応神天皇の母君として崇敬されています。第一殿は奈良時代創建ですが、第二殿は733年に、第三殿は平安時代の9世紀に建てられました。

御本殿の屋根は「檜皮葺（ひわだぶき）」で造られていますが、宇佐神宮では最下層に「友禅張り（ともかじゃばら）」と呼ばれる特別な技法を用い、板張りのように見せています。格式の高さを示す独特の造りで、ここでしか見られない特徴の一つです。

また、御本殿の前には「申殿（もうしでん）」があり、祭礼の際に宮司が祝詞を奏上する場となっています。そのさらに外側にある楼門は「南中楼門（なんちゅうろうもん）」と呼ばれ、天皇陛下の勅使が直会の際に通るための門として知られています。普段は賽銭箱が置かれていますが、大祭の際には勅使がここを通行される大変重要な場所です。

このように、宇佐神宮御本殿は八幡造りという独特の社殿様式の源流であり、日本の歴史と文化に大きな影響を与えてきました。本日は、御鎮座1300年という節目に、皆さまをご案内できたことを大変うれしく思います。



◆昼食



◆昭和の町散策



◆予定変更で米の蔵にてショッピング

* 宇佐ロータリークラブの皆様
お・も・て・な・し
ありがとうございました!

・ 辛島 虚空乃蔵
「麦の蔵」のご紹介
【三和酒類株式会社】

